

# よき企業市民としての社会貢献

三菱地所グループは、よき企業市民として社会との調和を大切にし、さまざまな社会貢献活動に取り組んでいます。まちづくりを通じての各地域社会での活動をはじめ、三菱地所グループの特色を活かした多様な活動を推進しています。

## 社会貢献活動基本方針

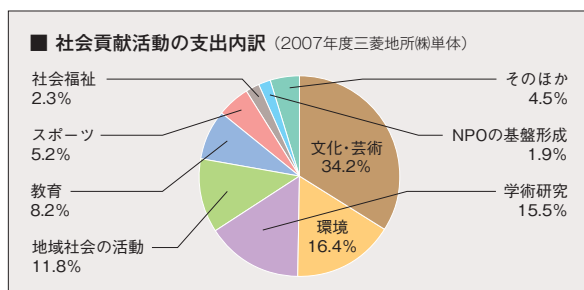
三菱地所(株)では、1994年に制定した社会貢献活動理念を、社会的課題の変化やグループ全体としての取り組みの必要性などの観点から見直し、2008年4月に「三菱地所グループ社会貢献活動基本方針」を制定しました。

### 三菱地所グループ社会貢献活動基本方針

- 1. 社会的課題の解決と自らの成長**  
よき企業市民として社会的課題の解決を目指し、活動を通して自らの成長をはかります。
- 2. 三菱地所グループらしい活動の展開**  
事業領域の内外において、経営資源を生かした、三菱地所グループらしい特色ある社会貢献活動を展開します。
- 3. 社会との連携**  
対等、信頼、対話を基本として、さまざまな団体と連携し、透明でフェアな活動に努めます。
- 4. 重点分野**  
「地域社会との共生」「文化・芸術支援」「環境保全」「社会福祉」を重点分野として取組みます。

## 社会貢献活動実績

三菱地所グループでは、「社会貢献活動基本方針」に基づく重点分野を中心に、グループの特色を活かした社会貢献活動に取り組んでいます。2007年度、三菱地所(株)単体の社会貢献活動支出は約1,009百万円で、経常利益の0.89%にあたります。



## 主な社会貢献事例

### ■ 地域社会との共生

#### 「大手・丸の内町会」事務局の運営

三菱地所(株)では、住民のいない大手町・丸の内地区において、企業、団体、商店などにより組織される「大手・丸の内町会」の事務局を1957年の設立以来担っています。会員相互の親睦を深めるさまざまな懇親行事のほか、会員の総意を行政の施策に反映させる役割とともに、治安警備・防災・環境整備など、行政と一体となった諸活動を行っています。特に、「安全で快適な千代田区的生活環境の整備に関する条例」に基づく月例のパトロールには、当社グループをはじめ、毎回多くの会員が参加しています。



東京駅周辺での清掃活動

#### 「朝EXPO in Marunouchi」

朝いつもより少し早く活動を始めるだけで、通勤の渋滞の緩和や、エネルギーの節約が図れるということから、エコのきっかけを考えていただく場として、春と秋に開催しています。出勤前の時間にライブ、ワークショップ、トークショー、朝ごはんの提案や朝市などをエリア内の各所で同時に開催し、地域が一体となった面的な取り組みを発信しています。「大手町・丸の内・有楽町地区再開発計画推進協議会」「エコツツェリア協会(有限責任中間法人 大丸有環境共生型まちづくり推進協会)」「NPO法



朝EXPO in Marunouchi

人大丸有エリアマネジメント協会」にて構成される実行委員会が主催し、三菱地所(株)は特別協賛企業として参加しています。

## 千代田区立九段中等教育学校への教育支援

三菱地所(株)では、千代田区にてまちづくりを行う企業の立場から子どもたちへ教育支援を行っています。2007年は、4月～7月に千代田区立九段中等教育学校の1年生160名に対して環境教育を実施しました。学校に出向いて、丸の内地区でのさまざまな環境への取り組みを説明した後、新丸ビルの壁面緑化などを実際に見てもらい、将来の環境に配慮した暮らし方の提案を子どもたちがまとめました。また、下期には同校の「都市文化」授業に協力して子どもたちの訪問を受け、「丸の内仲通りの活用方法」「住みたいマンションを企画する」というテーマで提案をまとめてもらいました。



九段中等教育学校：新丸ビル前におけるフィールドワーク

## United Wayへの支援活動

米国に本拠を置くロックフェラーグループ社では、過去40年以上にわたり、United Way(米国最大の募金組織で、個人の募金を各非営利団体に対して再分配する中間支援団体)への支援活動を行っています。

United Wayは行政機関や地域の企業などと連携し、地域社会の生活向上のために多岐にわたる活動を行っています。

## 文化・芸術支援

### 「アートアワードトーキョー」の開催

「アートアワードトーキョー」は、日本の主要な美術大学・大学院の卒業制作展へ足を運び、その中から選抜した作品・作家を、丸ビル・新丸ビルに隣接する「行幸地下ギャラリー」に一堂に集め、それに続く公開審査によりグランプリ賞を与えるというものです。2007年に開催された第1回に引き続き、2008年は最終審査終了後、4月4日～5月6日に約70作品の展示一般公開を行いました。三菱地所(株)は、若手芸術家の支援という観点から特別協賛企業として参加しています。



アートアワードトーキョー 2008

## 環境保全

### 「Nature Info Plaza丸の内さえずり館」の運営

三菱地所(株)が社会貢献の一環として運営している施設で、環境NPO/NGOとの連携による展示やセミナー、イベントなどを通して、自然保護や環境保全に関する情報発信および啓発を行っています。来館者は、近隣のオフィスワーカーから観光客まで幅広く、身近な自然に親しみながら環境について学び、考える場として利用されています。



Nature Info Plaza丸の内さえずり館でのイベントの様子

### OBサークルとの協働による社会貢献活動

三菱地所(株)では、退職者サークル「三菱地所ゆうゆう倶楽部」と連携し、地域の清掃をはじめとする活動に取り組んでいます。2007年度は東京都環境局が主催する森林保全活動「東京都グリーンシップアクション」や「鶴見川流域清掃活動」にも参加しました。



東京都グリーンシップアクション (2007年11月)

### 「三菱地所アルティアム」の運営

福岡市の中心部、天神地区に所在する「イムズ(天神MMビル)」は、(株)イムズが運営管理する複合商業ビルですが、三菱地所(株)はこの8階でアートギャラリー「三菱地所アルティアム」を運営しています。ここでは、地元九州エリアを中心に、絵画、写真、建築、生活デザインなど、ジャンルを問わない現代アートの作品をいろいろな角度からご紹介しています。



三菱地所アルティアム館内風景

## ■ 社会福祉

### 「認知症サポーター 100万人キャラバン」への参加

マンションの総合管理業務を行う三菱地所藤和コミュニティ(株)およびMTコミュニティスタッフ(株)は、マンション管理の現場において、認知症の方に適切に接することができる人材の育成に努めており、居住者の方が認知症になっても普通に暮らしていける地域づくりに取り組んでいます。こうした活動が評価され、2007年10月には、「認知症サポーター 100万人キャラバン」活動<sup>\*</sup>の報告会において表彰を受けました。

<sup>\*</sup>2005年度から展開している厚生労働省の「認知症を知り地域をつくる」キャンペーンの一環である活動。



認知症サポーター  
受賞風景

### 小児がん制圧キャンペーン「生きる」への協力

(株)横浜ロイヤルパークホテルは、2002年度より毎日新聞社主催の小児がん制圧キャンペーンに賛同し、協賛の催し『小さなやすらぎの集い』を行っています。例年、がんと闘う子どもたちとご家族を70階スカイラウンジ「シリウス」にご招待し、buffetランチをご賞味いただくとともに、ミニコンサートなどの催しもあわせて実施しています。

### 「丸の内オフタイム倶楽部」

三菱地所(株)では、2004年6月から千代田区に在勤・在住する働く知的障がい者とのアフターファイブの交流会を千代田区障害者就労支援センター、レストラン「欧風ダイニング ポールスター」の協力のもと、東京・丸の内内で毎月開催しています。参加者数名からスタートしたこの倶楽部も、現在では40名ほどの参加が得られるまでに成長し、仕事帰りの毎月の楽しみとして、賑やかな集いとなっています。

## VOICE

### 普通の職業人のライフスタイルを楽しんでいただくために



NPO法人日本就労支援センター  
(千代田区障害者就労支援センター)  
大形利裕氏

障がい者の就労支援については行政としても積極的であるが、余暇の支援については進んでいないのが現状である。アフターファイブなど余暇に関しては、行政としても手が届かないところ。知的障がいのある人も就職したものの、特にアフターファイブの楽しみがなく、職場のストレスなどにより離職の原因ともなっている。毎月1回のオフタイム倶楽部は、誰もが楽しみにしており、職場でのいやなことここに来ると吹っ飛ばすようである。参加者同士はそれぞれが支えあう存在になっており、知り合った友人同士で旅行やレジャーに行く人も増え、余暇の機会がますます広がっている。

ビジネス街でのこのような取り組みはめずらしい。一般のビジネスマンは会社帰りに「一杯」だが、障がいのある人はそういった機会に恵まれていない。参加者は丸の内ですごしたことを楽しそうに家庭や職場で話しているという。参加者の中には一旦帰宅してドレスアップしてくる人もいるくらいである。オフタイム倶楽部では普通の職業人のライフスタイルを楽しんでいる。

## 社員のボランティア活動支援

三菱地所(株)では、グループ社員を含む社員を対象とし、ボランティアセミナーの実施、音訳・手話などのサークルへの支援、ボランティア支援制度の整備など、ボランティア活動に取り組みやすい環境づくりに努めています。

また、三菱地所(株)の各部署およびグループ会社にそれぞれ社会貢献担当者をおき、社会貢献に関する各種連絡情報の共有化を図っています。

社員に対するボランティア支援制度とその利用実績は  
ホームページ参照

Web <http://csr.mec.co.jp/kouken/volunteer/mainpage.html>



# キラキラとアートコンクール



三菱地所㈱では、障がいのある子どもたちの可能性を応援するため、全国の障がいのある児童、生徒を対象とした絵画コンクールを2002年度より毎年開催しています。

応募作品すべてをインターネットで公開することが特徴で、きらめき溢れる子どもたちの作品は、「審査会」「原画展」「表彰式」そして「作品の使用」の各ステップを通して、

多くの人々に鮮やかな感動を与え続けています。

第6回目となる2007年度は以下の通り開催されました。



## 応募総数850作品、 優秀賞に49点が選出されました！

2007年7月から9月までに、全国から過去最多となる850作品の応募がありました。10月に審査会が行われ、一次審査に続く社内審査にはグループ会社を含む261名の社員が参加、専門家らによる本審査を経て、49作品を優秀賞に選出しました。



木村社長も真剣に吟味する本審査の様子

## 全国9会場で原画展を開催しました！

選出された優秀作品は、2007年11月から2008年2月まで、丸ビルや横浜ランドマークタワーをはじめ全国9会場を巡回し、多くの人々に鑑賞いただきました。各会場では見学者からお気に入りの作品にコメントをいただき、1,776通もの応援メッセージが寄せられました。このメッセージは作者本人にお渡しし、今後の創作の励みにつながっています。



横浜の原画展示会場

応援  
メッセージの  
一例

- ・こんな色はだせない、感性がすごい。
- ・見ていると心穏やかになります。部屋に飾りたい一枚です。これからも素敵な絵を沢山描いてくださいね!
- ・絵から元気が出ています!!色あいもよいです。最高!!

## 初めての表彰式を開催しました！

コンクールが始まって以来、初めてとなる表彰式を東京・丸ビルホールにて開催しました。全国各地から優秀賞を受賞された子どもたちとご家族、先生など130名以上の関係者が出席し、木村社長らによる祝辞、各地域の支店長から受賞者一人ひとりに賞状・記念品の授与、懇親会と、子どもたちも緊張の中にも誇らしげな様子が印象的な和やかな式典となりました。



表彰式会場の様子

会場内での記念撮影

受賞者の  
親御さんから

- ・表彰式があると励みになり、意識も高まります。
- ・賞を貰ったのは家族の希望につながりました。



## 作品の使用

このコンクールの大きな目的は、子どもたちの才能を応援することにあります。コンクールに応募された作品が、さまざまな企業のカレンダーや冊子の表紙を飾るなど、プロへの第一歩を踏み出した子どもたちもいます。

(活用事例: CSR報告書、オリジナル絆創膏)

